

Walk in Support of ILC

ILC誘致支援ウォーキング

中尊寺 金色堂 入口前 8:30 集合 9:00 出発

12:00 頃 『なのはなプラザ (岩手県一関市大町 4 番 29 号)』 1 階 FM サテライト前到着、現地解散

【参加費】無料【予約】不要

*健康については自己責任にてご参加いただけますようお願いいたします。

主催



Union is Power
Dr. Inazo Nitobe
協調・協力こそが力なり
前澤戸 龍彦

参加者
募集中!

※International Linear Collider
(国際リニアコライダー)

平泉・一関周辺を
愛と科学の浄土に!

2013年
6/1 土
雨天決行



Q 「ILC (国際リニアコライダー)」って何?

A 世界中の研究者が熱い視線を送る実験施設です。

現在達成しようとしている最高エネルギーで電子と陽電子の衝突実験を行う、全長約 30 ~ 50km の直線状の巨大な加速器です。宇宙初期に迫る高エネルギーの反応を作り出すことによって、宇宙創成の謎、時間と空間の謎、質量の謎に迫ります。国際宇宙ステーション、国際熱核融合実験炉とともに、「21 世紀の人類 3 大プロジェクト」と言われ、今後の科学技術の発信地となる、規模としても意義についても巨大な施設です。

ILC 参考 URL : <http://aaa-sentan.org/ILC/>

Q ILC が来るとどうなるの?

A その地域に数兆円規模の経済効果、人口増加や国際化が期待されます。

ILC や、それに伴う施設の建設などの他に、研究者等向けの産業の発展も期待され、数兆円規模の経済効果が期待されます。また、研究都市として世界最先端の研究者が集まることで、科学者のメッカ「Mecca」になることは間違いありません。様々な国の人々と日常的に接する機会も増えることで、地域の国際化が見込まれることをはじめ、研究者の家族や関連施設での就業目的でこの地に来る人達の人口増は 3 万人近くになるのではないのでしょうか?

Q 岩手県の一関周辺が候補地になっている理由は何?

A まずもって世界に類のない、日本では唯一といえる硬く安定した岩盤が存在するからです。

ILC は長さが約 30 ~ 50km の直線形をしており、そのため、建設候補地には ILC 加速器の設置に必要である広大な岩盤地帯が広がっていることが求められます。東北の北上山地は、地下深くからマグマが上昇して花崗岩となり、これが隆起して出来た山地ゆえに非常に硬い岩盤であり、活断層も無いため非常に適しています。

Q ILC の建設以外にもこの強固な地盤の活用法は他にもたくさんありそうですね。

A そうです!

活断層がなく強固な地盤は首都機能の移転先としても大いに検討の価値があるのではないのでしょうか? ニューヨーク、ロンドンあるいは香港が硬い岩盤上にあることを思うと、高層ビルをたくさん建設するにも有利です。米国のフォートノックスでは、強固な岩盤を活用して、金埋蔵所として利用するように、東海地震を想定して巨大なシェルターをこの地に建設することも考えられます。また、この強固な岩盤の上に空港を建設すると、沿岸地域へのアクセスも飛躍的に向上することでしょう。大きな夢と希望を持ちましょう!

コースマップ



<http://www.rentaitohoku.org/index.html>